

千葉県議会議員

# 高橋ひろしレポート



発行人：立憲民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉県千葉市中央区市場町1番5号 高橋 浩 事務所 〒292-0043 木更津市東太田1-9-30 TEL0438-98-0800 FAX0438-98-0833

# 森田知事のアクアライン800円に 対する思いを議員・県庁職員全員が 初めて聞かせて頂きました。

## 議会質問

**アクアライン通行料金800円  
恒久化について**

**質問** 知事のお力によりアクアライン通行料金の普通車800円化が実現して、早11年4か月となります。忘れもせず、平成21年の5月、私は新聞社の方から、「高橋さん、アクアラインが800円になるよ、良かったね」との連絡を頂きました。知事に就任して2ヶ月しか経ってませんでしたが、ほんとかな？と会長をはじめ私たちも、嘘なのか、ホントなのか？半信半疑であったことを覚えております。そして、この11年の間でも、3000円が800円でありましたので、幾度か国からの

引き上げの要請があった際にも、「絶対に800円は譲れない」と、その都度、止めて頂いた、とお聞きしております。本当にありがとうございます。そこで800円化が実現してからの通行台数の推移はどうか。どのような効果が出ているのか。

**森田知事** アクアラインの交通量については、通行料金引き下げ前の平成20年度の1日平均20,800台から年々増加してきており、昨年度は48,400台となり、引き下げ前と比較して約2.3倍となっております。また、アクアラインの木更津市側の着岸地周辺地域では、人口が増加するとともに、大型商業施設の進出や拡張により、新たな雇用が創出され、さらに、今後新たな企業の進出が計画されるなど、経済の好循環が生まれております。

私は千葉県知事に立候補しようと思った時、まず経済は大事だと、この千葉県が何で今この地位なんだと、やっぱり人とモノの流れを良くしたいかなといけないうこと、というところで、私はこのアクアライン800円、何とか実現させたいと、その時に応援してくださいましたのは、当時市議でございました高橋さんをはじめ、800円会

熱い応援、それから議員の諸先生方の熱い応援の賜物でございます。その中において、高橋、当時は市議でしたね、800円会の榎本会長がやりになった。どんな場所でもアクアラインの旗を持ってきて、森田頑張れと、色んなところで私以上に大きな声を出して言ってくれました。私は一回目落ちました、それが4年間です。その4年間、私がやるどころ行くところ来て一緒にやってやりました。私は、共に井戸を掘った友人は忘れません。私はこの千葉県が絶対こんなポテンシャルある県はない、こんな素晴らしい県民がいる県はないと、この人達と一緒にやったらできるとそのように強く思っています、そのことを官邸に行くと、当時麻生総理、アクアライン800円にしないんだしたら、こんなもの千葉県いらないからぶつぶつしてくれとそこまで私、生意気なことを言わせていただきました。本当に皆さんのお陰で実現できて、またいろいろな経済効



12月議会質問

の皆さんでした。私は異業種から来ました。役者から来ました。だからあいつに何ができるんだと、あんだけ大風呂敷振って何ができるんだと。私はその何しても俺でもできるよ、とこのように思っていて、やりました。これはもちろん県民の皆さまの



森田知事との活動



皆の協力で800円に! (2009年8月1日) 次は恒久化へ

果も含めて上がってきたなというところが私は大変に嬉しいし、これはまさしくチーム千葉のお陰であるし、それと同時に、私にいつも勇気と情熱を与えてくれた高橋現在の県議はじめアクアライン800円会、それと議員諸氏の皆さまのお陰だと私は心から感謝しているところでございます。このアクアラインをつまぐ利用して、そして更なる千葉県の発展を祈念しています。私は来年の4月から一県民になります。しかし、県民としてですね、この千葉県の発展そして、またアクアラインの発展を心から願うところであります。大変生意気なことを申し上げました。お許しくださいませ。高橋県議ありがとつね。私からは以上でございます。

**要望** 知事が意地を張って守っていたこの800円でありました。是非、継続、そして今後には恒久化に向けて、県全体を挙げて努力していけたらと思います。

# 新型コロナウイルス感染症の社会的検査の拡充を求める

**質問** 新型コロナウイルス感染症の検査可能数の現状と今後の整備状況はどうか。

**渡辺保健医療担当部長** PCR等の検査については、現在、地区医師会等が運営する地域外来・検査センターや、県と契約した地域の医療機関などにおいて、1日あたり最大1万2、152件の検査を行うことが可能となっています。今後、季節性インフルエンザとの同時流行に備え、多くの発熱患者に対応できるように、更に検査体制の整備を進めてまいります。

**要望** このコロナ感染症で一番の問題は、無症状の感染者が、ご自身でも自覚のないまま感染を広げている事であると

考えております。その中で、経済を動かしながら、医療崩壊を起こさないようにしていくためには、現在のごままで感染が広がっている以上、まずは再び大胆な自粛をしなければならぬと考えます。そして、少し収まるまでの間に、経済を動かす、動く方を中心とした検査、社会的検査を行えるシステムを構築することではないかと、思っております。

本日、船橋市がプール方式の検査の国費の負担を国に要望したとの報道がありました。これも、社会的検査を求めるものであります。ぜひ、県としても考えていただけたらと考えます。



プレジジョン・システム・サイエンス(株) 自動PCR検査機(1~12検体用)  
厚生労働省が15日に許可を出したプール方式で社会的検査の拡充を!!

# 危機感をもつべき人口減少について

**質問** 第2期千葉県地方創生総合戦略の人口推計における人口の減少原因は何か。

**鎌形総合企画部長** 本県の人口については、2011年に死亡数が出生数を上回る自然減となった以降にあって、東日本大震災の影響により、転入者が大きく減少した時期を除き、社会増が自然減を上回ったことから、増加を続けてきたところです。しかしながら、今後は、親となり得る世代の人口規模の縮小に伴う出生数の減少や、全国的な人口減少を背景とした転入

者の減少などにより、本県において人口減少が進むと見込まれるところです。

**質問** 国から、全国の妊娠届が前年同月比を大幅に下回ったとの公表があったが、県の状況はどうか。

**加瀬健康福祉部長** 本県における今年の5月から7月までの妊娠届出数は9,692件で、前年同期の1万1,084件に比べて、1,392件、12.6パーセントの減となっております。

**質問** 今後、県として人口を維持、また増やすためにどのような政策を行っていくのか。

県民の妊娠・出産などに対する希望をかなえられるよう、子育て世帯の経済的な自立と安定を確保するとともに、安心して子どもを生み育てられる環境整備を進めることとしてまいります。また、地域産業の活性化による魅力ある雇用の場の創出や都心へのアクセス強化、県内外への魅力発信などに取組み、本県への移住・定住を促進してまいります。

# 大阪市でも来年から始めようとしている学校給食費の無償化

**質問** 学校給食費について、本県の保護者負担の軽減措置の実施状況と、そのうち無償化の実施状況の昨年度との違いはどうか。

**澤川教育長** 今年度、学校給食費の保護者負担軽減措置を行っているのは、県内で27市町で、今年度から新たに1つの町が加わりました。その中で、すべての児童生徒の給食費を無償化しているのは7つの町で、昨年度から変わりがありません。

**質問** 子供を生み育てやすい国とする中で、子育て支援として皆に公平な支援でありたい。本県として学校給食費の無償化を考えないのか。

**澤川教育長** 学校給食法においては、給食施設の設備や調理員の人件費等は学校の設置者が負担し、食材等にかかる学校給食費については、学校給食を受ける児童又は生徒の保護者が負担すると定められております。また、経済的に厳しい家庭への就学援助制度もありません。したがって、新たに財政的な支援をするということについては、県教育委員会としては考えておりません。なお、保護者の負担軽減のために参考となる県内各市町村における取組について、市町村教育委員会の給食担当者会議等で情報提供しております。

# コロナ禍の後!!皆で願おうアクアラインマラソンの開催

**質問** 木更津商工会議所も要望書を出しているちばアクアラインマラソンを2022年に開催すべきと考えるがどうか。

**澤川教育長** 本年10月に予定しております2020大会については、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を勘案して、3月27日に中止が決定されました。ランナーや地元の方々、関係機関などからは、中止についてご理解をいただいておりますが、併せて次回大会を期待する声もいただいております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は続いており、他のマラソン大会も中止もしくは延期が相次いでおります。このような状況の中で、他の大会の動向も注視しているところですが、次回大会の開催については、未定です。

**要望** コロナ禍の後の、本県の元気を取り戻すために、今一度、アクアラインマラソンの開催の検討をお願いできればと考えます。



千葉県総人口及び年齢3区分別人口の推移  
資料:1960~2015年は総務省「国勢調査」。2020年は「千葉県毎月常住人口調査」(6月1日現在)の人口を「千葉県年齢別・町字別人口」(平成31年4月1日現在)の年齢別人口比率を用いて按分計算。2025~2060年は、社人研の推計方法に準拠し、2020年までの人口の動向を踏まえ、内閣府提供資料を用いて試算。(端数処理の関係で、3区分の和が、総人口に一致しないことがある。)

